

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				利用者の最後まで自分らしくを支える事を事業所理念として掲げています。	・サービスの特徴とr年の方向性が一致していると思います。 ・提供地域を川口市全域としている事で、今までサービスを利用する事ができない方も利用する事ができるようになったと思います。これからもニーズはあると思います。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			定期巡回の定期的な研修を行う事でサービスの特徴は共有できていると思われま。理念についての理解は個人差があります。	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			身体介護実技研修、制度研修を実施しています。新型コロナウイルスの影響で外部研修への参加が少ない状況です。	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			サービスの統一化を目指し、どの介護士でもできる限り同様のサービスが提供できるようにしていますが、個人差はあります。	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				情報共有システムの「スマケア」や「MCS」を利用し看護職との連携を行っています。それ以外にも必要に応じてメール、電話等で情報共有しています。	・タイムリーに情報を載せていて、他職種から高い評価を得ていました。 ・情報共有システムやICTを利用して情報共有ができています。
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			スタッフが柔軟に利用者へサービスが提供できるように、シフトの調整等、行っています。	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている					初回開催の為、未回答	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				情報共有システムの「スマケア」や「MCS」を利用し他職種間でのリアルタイムでの情報共有をしています。	・タイムリーに情報を載せていて、他職種から高い評価を得ていました。
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				災害時のマニュアルや感染症対応マニュアル等を整備しています。	
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				入社時や年に1度、個人情報に係る研修を行い、個人情報の取り扱いについての取り扱い方法を共有しております。	

II 過程評価 (Process)							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○			ケア毎に利用者様がどのよう過ごしているのかのアセスメントを、各スタッフがいき、その情報を早急に共有しています。	・利用者の生活スタイルに合わせたアセスメント、計画が提案されていると思います。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○		看護からのアセスメントを基に、現状の介護計画とのつき合わせを行い、必要に応じて変更等していますが、更に多くの情報共有ができています。	・介護、看護それぞれの視点でアセスメントが行われ、利用者の状態に合わせた計画ができています。
	13	利用者の心身の機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○			出来ない事を細分化し、その中にある「できる事」に注目します。それを共有し、できる可能性がある事を試す事で維持向上を目指した計画を立てています。	・残存能力活かした計画を立てることができています。
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○		重度化した際に心身に起きる変化等を日々の同行等でスタッフ間で共有し、変化に早く気づけるような体制を整え、先を見越した計画を立てられるように努力をしています。	
	(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し						
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○			利用者のできる事に注目し、日々の訪問でサービスが足りているのか過剰ではないかを常に考え、運営に努めています。	・随時対応において、適時対応しており、高い評価をしています。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○		日々のモニタリングを通じ、利用者のできる事に注目し、計画へ反映させていますが、計画書への反映にはタイムラグがある状況です。	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○			介護士で担う生活全般のサービス、看護師で行う医療的サービスの役割分担を常に意識して、サービス提供をしています。	・サービス提供時に、看護職でしかできない医療行為を適時確認して行っていました。 ・介護、看護それぞれが役割を分担していました。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○			毎月の看護職からのモニタリングは勿論の事、電話やメール等で必要に応じて助言や指導を頂けています。	・看護からの医療的なや助言を活かしたサービス提供ができています。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○		出来る限り情報提供や説明を行っていますが、利用者や家族によって、理解度に差が出てしまう事もあります。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○		出来る限り目標の共有はさせて頂いていますが、理解度に差が出てしまう事もあります。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○			状況の変化等の報告、相談、連絡は行えています。	・ご家族からの連絡に丁寧に対応していると思います。

2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント							
(1) 共同ケアマネジメントの実践							
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○			情報共有システム(スマケア)や電話、メール等を用いて情報共有をしています。	・情報共有が出来ていると思います。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○			できていると思います。	
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○		計画目標の共有がCM、看護以外への共有が足りていない事があります。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献							
利用者の在宅生活の継続に必要なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○		介護保険サービスだけではなく、必要に応じて知っている範囲内での提案をしています。	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)			○	病院や施設からの退院・退所時の情報共有が足りない時がある。	・定期巡回を病院側等が理解するまでは、難しい所があると思います。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○		サービス担当者会議や日々の報告を行う際に必要に応じて検討や共有をしています。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○			弊社ホームページに掲載しております。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○		営業活動の際に、積極的に定期巡回の情報発信を行っております。	・とても良いサービスなので、活用できる方がいたら薦めて行きたいと思います。
(2) まちづくりへの参画							
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○		市のホームページなどを確認しています。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○		できています。	これからも川口市全域を対象としている事が凄いいことだと思い、是非継続して欲しいです。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)					
III 結果評価 (Outcome)							
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○		最大限目標達成の努力はしておりますが、課題が残る場合もあります。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○		日々サービスで訪問するごとに、利用者や家族から定期巡回を導入して良かったとの声を頂いています。	・柔軟なサービスの提供が賢沢生活を送るうえで、利用者や家族の安心感につながっていると思います。